

この船（左側の黒い船）が、今回、回航する「GRACE POSEIDON」と言うケミカルタンカーです、長さが128m、幅が20m、14,000KLの石油製品を運ぶことができます。



本船の船橋です、何となくノスタルジックな雰囲気です。



今回は、瀬戸内海の静かな島、レモンが特産の生口島（いくち島）の瀬戸田港から、おなじみインドネシアのマカッサル港までです。

とても穏やかな航海で特記するような事ありませんでしたが、本船のすぐそばで建造中の自動車運搬船がありました、建造の過程を少し紹介し、併せてしまなみ海道、生口島の素晴らしい雰囲気もお伝えします。



レゴのブロックを組み立てるようにして船は建造されます。



工場でブロックが建造されます、ブロック建造時に配管や機器が取り付けられます。



船の部分で色々な形のブロックが建造されます。これを1つずつ順番どおりに溶接でつなぎ合わせていきます。



出来上がったブロック置き場です、ここで可能な限りタンク内部や外板の塗装が施されます。レゴブロックでイメージして下さい。



造船も分業です、社外で作られたブロックが運ばれてきました、造船所によってはブロック建造を海外に発注しているところもあります。



瀬戸田の沢港の栈橋です、高速艇やフェリーが着きます、地元の方はバス感覚で船を利用します。



瀬戸田港の船客待合室です。瀬戸田はレモンの外はサイクリング、耕三寺（西日光と言われています）、向上寺（国宝の三重塔があります）、平山郁夫記念館等があります。



向上寺への山道です、遠くに海も見えます、閑静な所です。桜が満開でしたが私一人、ゆったりしました。



ここはサイクリング道路から離れているせいか、行き会う人はいませんでした。



山上から瀬戸田水道、対岸は高根島、遠くに霞んでいるのが大三島です。水道は流れが速く、まるで川のようにです。



続いて国宝の三重塔、古い町並み等を紹介します。





耕三寺、昭和初期にお母さんの供養のために建造されたお寺です。



出港当日、静かな朝です。



出港準備が整いました。



タグボートも準備 OK。



ドックマスター（造船所岸壁やドックへの離着岸は造船所の専門家が行います）により船は離岸していきます。そして船長に引継ドックマスターは離船します。



船は三原瀬戸を通り伊予灘へ向かいます。見えてきたのは今治造船、2-30 万トンクラスの船を建造する大きな造船所です。





大崎上島を右舷に見て大下水道（正面の島と島の間）に向かいます、大下を抜けると伊予灘です、さらに佐田岬（四国の西端）、豊後水道へと向かいます。



豊後水道で日没、大分の山に日が沈んでいきます。



豊後水道の真ん中にある水の子島灯台です。



そして翌4月9日の日没、種子島と奄美大島の間、昨日の日没から1昼夜、約530km（288海里）走りました。昨日今日と霞がかった天気でした。



突然の訪問者



そのまま居ついてしまいました。伝書バト失格・・・



海の色も大好きなコバルトブルーに変わりました。



4月11日日没前。



そして12日の夜明け、明けの明星（金星）が輝いていました。



インドネシアの1等航海士と2等航海士、優秀な人材です。



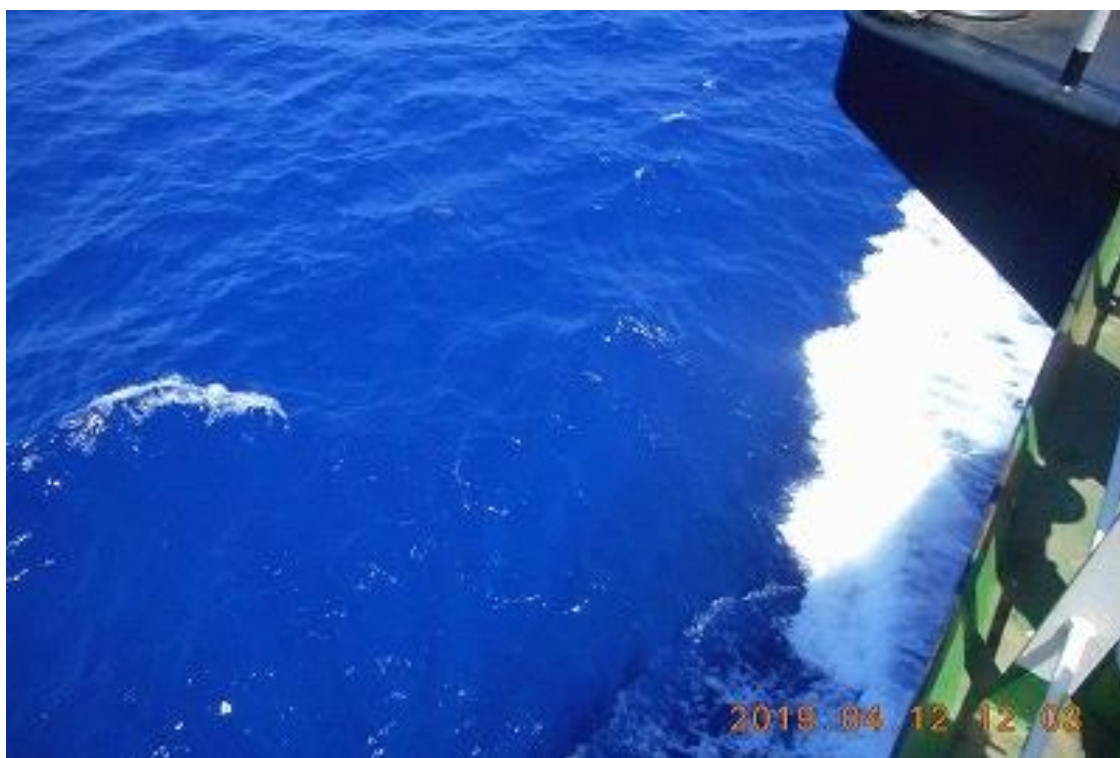
同じく3等航海士、見習士官、機関長です。



舳先から撮りました、綺麗な色・・・



コバルトブルー！



燃料油清浄機整備中



主機関（ディーゼル 6,000 馬力）プロペラを回しています。



機関制御室での機関長（元 38 万トン超巨大船の豪胆な機関長）



本当に穏やか海です、小型客船「くがに」回航時とは大違い・・・



日没です、右舷前方に薄っすらとフィリピンの島が見えてきました。



15 日朝、明けの明星、朝の薄明時は気持ちよい素晴らしい時間帯です。



静かな夜明け前、大好きな時間です。航跡も静かです。



レーダーマストです、本船には2台のレーダーがあります。



日の出。



コンテナ船が追い越していきました。



貨物（カーゴオイル）制御室です。



漁船もちらほら、もうすぐです。



翌 16 日、朝焼けの少し前の景色、モーニングトワイライト、そして金星、後ろの山はセラウシ島、明日の朝はマカッサルです。



翌朝の日の出前、一面淡いピンクの朝焼け、どぎつく無い優しい朝焼けでした。



そして日の出



翌朝のお月様（月没前です）



静かです。小魚が湧いていました。



マカッサルの港も見えてきました。



ゆっくりと錨地に向かいます。



投錨終了、錨地からの遠景。



真ん中の黒いビルの横の白っぽい前衛的な建物は、モスクです。



検疫官も来て検疫終了。



検疫官たちが帰って行きます、税関もこのような海上タクシーを利用しています。



そして我々も下船、これで終了です。



今回はこれで終わりです。

4月8日に出港して17日入港迄の9日間、ほとんど揺れを感じることもなく、本当に平穏な航海でした。穏やかな海、満天の星空、南十字星・・・大好きな海・・・

船乗りになって良かった！

